

第60回みんなで平和を考えてみる集い

憲法の危機と対米従属の日本型ファシズム

— 安倍自民政権がめざす戦争ができる国づくりとは —

かねこ まさる

お話し 金子 勝さん (立正大学教授・憲法学)

■憲法の最大の危機をどう克服するのか

いま憲法は戦後最大の危機を迎えています。自民改憲草案から見えてくるものは、安倍政権がめざす危険な国家像とそのもとに従属させられる国民像です。

一方で自民改憲草案と対比して、現行の平和憲法のすばらしさを改めて見直している人たちも多くいます。「立憲主義」や「硬性憲法」という概念も、今まであまり話題にのぼることはありませんでした。むしろこの機会にこそ、平和憲法をしっかりと学ぶ好機です。

いま全国で講演を精力的に展開している憲法学者の金子さんに、安倍政権の狙いと平和憲法を守り暮らしのなかに活かす意義について語っていただきます。

■金子勝さんプロフィール

1944年愛知県生まれ。愛知大学大学院法学研究科修了。日本国憲法の礎である「憲法草案要綱」を起草した鈴木安蔵（映画「日本の青空」の主人公）の愛知大学教員時代の門下生・愛弟子。鈴木氏の遺志を継いで「憲法九条」を守る護憲平和運動を日本全国に展開しています。

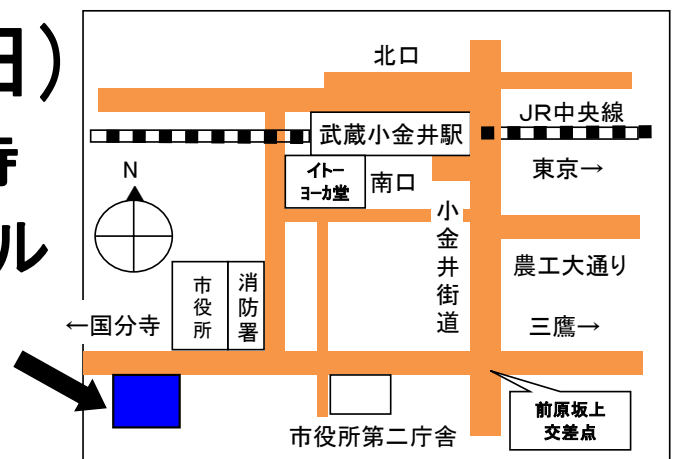
憲法9条を守り活用しよう。みなさまの参加をお待ちしています。

日時 2013年7月7日(日)

午前10時～12時

会場 市民会館萌え木ホール
(小金井市商工会館3階)

資料代 300円(学生200円)



主催 小金井を住みよくなる会(代表:針生誠吉・都立大名誉教授[憲法学])

連絡先 小金井を住みよくなる会事務局・内田 電話 090-3813-7739